

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画  事業化  事業  管理

個24事04

政策名	5 安全な港	23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	建設部 施設事務所長
基本施策名	08 施設の安全性・信頼性の向上	事務事業	成果	コスト	連絡先 052-661-5282	事業期間 昭和26年度～継続
個別施策名	24 海岸保全施設の機能を維持・強化する					
事務事業名	04 堀川口のポンプ施設・防潮水門及び港内の防潮扉等の管理	継続	維持	維持	事業担当、管財課、施設工事担当	
目的	ポンプ施設・防潮扉等を適正に管理し、災害に備え常に異常なく稼働します。				事業期間	昭和26年度～継続
概要	堀川口の防潮水門・ポンプ施設および港内の防潮扉等について保守点検を行い、不良箇所を発見した場合は緊急度に応じた補修を実施します。				根拠法令等	
					実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	異常が確認された、または老朽化した設備については、自らまたは外部委託にて補修を行い、防災時に異常なく稼働するように、23年度と同様、実施予定です。				関連シート	

2 DO(実施)

24年度に実施した内容・結果	堀川口防潮水門・ポンプ施設・防潮扉等について直営及び委託による試運転、点検修理及び委託による定期点検、計画的な維持修繕を実施し、防災時に異常なく稼働しました。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	22,143	15,070	27,898	17,464	131,897	(款項目節) 歳出:建設費/整備費/海岸防災費/単費(海岸防災施設維持補修費)
一般会計	千円	22,143	15,070	27,898	17,464	131,897	(算出計算式)
事業会計	千円						
その他	千円						
人員費 計	千円	77,001	75,350	74,463	75,684	76,526	(その他)
正規職員	人	8.78	8.78	8.78	8.78	8.78	
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	千円	99,144	90,420	102,361	93,148	208,423	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
施設の年間試運転の回数(回)	目標	321	327	328	278	214		—	稼働施設(ポンプ、水門、防潮扉(締切状態の扉を除く))の年間総試運転回数を指標とします。稼働施設数 H20:50、H21:49、H22:48(46)、H23:46、H24:45 22年度は、年度途中で防潮扉2門を締切状態としたため、試運転を行う必要がなくなりました。(試運転は1門につき2回/年実施)24年度は、ポンプ台数の減少(5台→3台)、防潮扉4門の改修により試運転を行うことが出来ない見込みです。
	実績	321	327	324	278	214			
	達成率(単年度%)	100.0	100.0	98.8	100.0	100.0			
	達成率(累計%)	—	—	—	—	—			
防災時の施設の故障発生件数(件)	目標	0	0	0	0	0		0	稼働施設の防災時の故障発生件数(年間)を指標とします。
	実績	0	0	0	0	0			
	達成率(単年度%)	○	○	○	○	○			
	達成率(累計%)	—	—	—	—	—			
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)						その他特記事項	
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						海岸管理者として、災害発生時に被害が生じることを防ぐため。	
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						災害に備え、海岸保全施設としての機能維持が出来る見込みがあるため。	
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						公共の財産を守る必要があり、本組合が運営主体となって、通常の維持修繕のみで問題なく稼働できる見込みがあるため。	
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			現行レベルの保守点検を行うとともに、計画的に維持修繕工事を行うため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				

現行と同水準の保守点検を継続し、適正で効率的な維持管理を図っていきます。